

(大阪府東大阪市、0 ユーエイキャスター

埼玉にキャスター工場 生産能力2倍に

ユーエイキャスター

6・6747・5607)は、埼玉県飯能市に産業用キャスターの工場を新設した。年産能力は最大2000万個で、総生産能力を現在の2倍に引き上げる。物流機器向けの需要拡大に対応する考えで、来年4月に本格稼働する。

新工場は敷地面積8808㎡、延床面積7218㎡で、土地建物の総投資額は12億円。奈良工場から一部生産設備を移管し、直径50〜150mmの小型キャスターを生産する。本格稼働時の生産力は能力最大の約30%で、今後、新規設備を導入するなどして高めていく。

現在、奈良県の2工場(池沢町、額田部南町)で中・小型キャスター、福岡県の工場(福地町)で大型キャスター、中国の2工場で車輪を生産している。全工場の年産能力は2000万個で、新工場がフル稼働すれば年間4000万個を生産できるようになる。また、新工場には福岡で生産する大型サイズのキャスターも在庫し、東日本エリアへの納期も短縮する。

ユーエイキャスターは国内のキャスターメーカーでは後発だが、受注生産やOEM生産で業績を伸ばし、現在の年間売上高は約60億円(2017年3月期)。中長期の経営計画で国内・海外市場の開拓により年商100億円を目指しているが、生産キャパの拡大が課題となっていた。



関東工場